

# 聖愛

原町聖愛保育園  
三月号

二〇〇七年三月一日発行

今年度もあとわずかとなり別れの季節ですが、これから始まる新しい出来事に胸膨らます、期待と希望の月であります。これまでの成長を喜びあい、自信を持って過ごせるよう日々を大切に過ごします。

## 子どもの言葉の獲得

片言だった子どもの言葉は、年齢と共に増えてお話しも上手になり、いつの間にか驚くような大人びた言葉を使つたり、会話をしたりしています。

一方、知つていなければならないことがわかつていないことがあります。父母、兄弟姉妹、祖父母の名前をフルネームでは言えない。年齢を聞かれて、咄嗟に指で示して言葉で言わない。就学を前に、入学する学校の名前を聞かれ、「二小」と答える、「原町第二小学校」なのか「石神第二小学校」のか正しく言えない。自宅の住所を知らない。他にもまだあります。

しかし、正しい言葉遣いや言葉での自己表現、コミュニケーションがおかしいのは、子どもだけではないと思わされることがありました。

一般保育園に電話があり、「私はばあばなんだけど、子ども保育園に入れると?」と、いきなり質問されて返答に困りました。ばあば様のお子様は大人?子ども?どちらにしても解釈に悩む以前の問題です。電話の相手や目的を考えての、話し方や内容とは思えないものでした。家族同士では通じても、そのままを他の人に話すということ自体が、不躾でおかしなことです。

子どもの成長を、文字の読み書きを目安にして推し量ることがあります。その前に、話し言葉が育つていなければなりません。話を聞いて理解する。自分の思いや考え、感じたことを自分の言葉で表現する。相手と場面や状況を共有して会話をする。このように話し言葉が発達してから、文字の読み書き、言葉を文章にする、へ移行するのが発達の道筋です。

子どもは年齢に相応しい言葉を自然に覚え、話すだらうとその獲得に普段は傾注していないませんが、大人の言葉が乱れて教えられない場合には、どのように覚えます。正しい言葉遣いや優しい表現を獲得させるためには、日ごろから気をつけて話し、正しく教えなければなりません。

園長 遠藤美保子

## 3月の保育目標 主題 「おおきくなつたよ」

暗唱聖句：彼が担つたのはわたしたちの病 彼が負つたのはわたしたちの痛み イザヤ書53章4節



年齢	保育目標	保育内容	保育者の配慮
てんしんし	・全体を動かし、保育者と一緒に遊ぶ。	・築山登りや散歩(歩く、登る、降りる、つかまる) ・マット遊び(ぐぐる、転がる) ・なぐり描き ・音楽を聴いて体を動かす	・一人ひとりの成長に合わせ、時には介助をしたり保育者がやってみせたりして、興味を持ってやってみようとする大切にすること。 ・登り、降り、つかまることなど、様々な動きを戸外への散歩や遊びの中で意識し、介助しながら働きかける。
つぼみ	・自分で、出来るようになったことを喜ぶ。	・穴通し(プレゼントづくり) ・クレヨンを使ってなぐり描き ・かくれんぼ しっぽ取り あぶくたつ ・散歩(春を探して)斜面登り、ジャンプ	・一人ひとりの成長を喜び、賛美やお祈りの中で、神様に感謝する。 ・簡単な身の回りのことが、自分で出来るよう難しいところは方法を知らせ援助し、自分で出来る喜びが得られるようにする。
はな	・一つの遊びを共有し、友達と一緒に遊ぶ楽しさ、面白さを味わう。 ・大きくなったことを保育者、友だちと一緒に喜ぶ。	・プレゼント作り(はさみ、のりを使って) ・輪つなぎ ・集団遊び(鬼ごっこ、しっぽり、子供魂) ・散歩(長い距離を歩く)	・友だちと一緒に共通した遊びをすることで、楽しい、面白いと感じられるようにし、次もやってみたいと思えるように声かけをしたり、思いを代弁しながら見守る。 ・進級することを期待して日々過ごせるように、話題を提供し、交流の機会を多くもてるようにする。
フアミリー	・様々な活動を自主的に行い、自分でできるようになったことを喜ぶ。 ・友だちとの生活を楽しみ進級することへの期待を持って行動する。	(室内) つき 小袋作り(ミシンかけ) 卒園制作 ほし・なみ プレゼントづくり おわかれ会準備 (飾り物、カード)  (户外遊び) ・短縄(前跳び、後ろ跳び、走り跳び) ・逆上がり、登り棒 ・ドッヂボール ・鬼ごっこ、しっぽり *係の引き継ぎ(ほし、つき)	・生活習慣を見直し、自分の力で行い、できた時には十分に認め、成長したことが感じられるような声かけをする。 ・集団での遊びに誘い、自分だけではなく周りの友だちにも目を向け、遊べる機会を多くし、楽しさや満足感を味わい積極的に行えるような場面作りを心がける。 ・自主的にやってみたいという気持ちを引きだし、自分たちにも出来るんだという思いを持って役割を果たしていくように励ます。 ・年上児のアドバイスを聞き、どのようにしたら出来るのか?保育者と一緒に考えながら、年長児になる期待を高められるようにする。
5歳児	・成長を友だちと喜び合い自信を持って物事に取り組む。		・手作業が集中して丁寧に行えるよう、個々に合った環境設定や声かけに心がける。 ・今までの園生活を振り返り、楽しかったことを繰り返し行ったり、一人ひとりの得意なことを認め、更に自信につなげられるようにする。

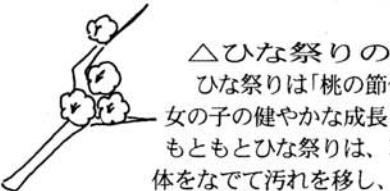


## ◎3月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
1(木)	ポップコーン	
2(金)	ひな祭りお楽しみ会	
3(土)	保護者会主催 ボウリング大会	
6(火)	合同礼拝 久米本先生指導	園内研修 聖書研究タラントの会
7(水)	子育てサークル(レインボーギー)	構造化会議
8(木)	小人さんの音楽会	
9(金)	世代間交流事業 いちご狩り	
12(月)	しゃりん梅訪問	
13(火)		聖書研究めぐみの会
14(水)	子育てサークル(ペーさんG)	職員会議
15(木)	ポップコーン(クラブ活動)	マネージャー会議
16(金)	避難訓練 つき組午睡終了	
17(土)	卒園児交流事業(つき、小学1年生)	
20(火)	お別れ遠足 弁当の日	保護者会役員会
21(水)	休園(春分の日)	
22(木)	小人さんの音楽会	育児相談会
23(金)	ほし組午睡終了	
26(月)		ちいしば会理事会
27(火)	お別れ会	
28(水)		給食会議
29(木)	卒園式	

★弁当の日は、お別れ遠足の日です。

**ひな祭りお楽しみ会** 3/2(金) 午前10時～  
礼拝後、ひな祭りの由来についての人形劇を見たり、各クラスからの演し物を楽しんだりして、共に成長を喜び合います。



### △ひな祭りの由来△

ひな祭りは「桃の節句」「上巳の節句」とも言われ、女の子の健やかな成長と幸福を願いお祝いします。もともとひな祭りは、草や紙や布で作られた人形で、体をなでて汚れを移し、海や川に流して災厄を払う「ひな流し」から始まりました。現在のように、ひな人形を飾るようになったのは、江戸時代のことです。

### 【2007年度 早朝、延長保育の手続きについて】

お子さんをお預かりするために、人数を把握いたします。  
4月より早朝(7～8時)、夕方(4時半以降)の保育を希望される方は、3月8日(木)までに、書類に記入して提出して下さい。

夕方6時以降の保育を希望される方も、新たに更新(市に提出するもの)するようになりますので、お忘れなく保育園に提出して下さい。  
用紙が必要な方はお申し出下さい。



### おしらせ

- ・年度末の保育について、門や玄関の掲示板に掲示しますので、必ず確認して下さい。
- ・園からの各種の手紙には、必ず目を通して利用して下さい。
- ・新年度は4月2日(月)からで、通常保育です。

佐々木敏子先生が、家庭の都合(転出)で、3月31日付けで退職いたします。

## 2006年度 第58回 卒園式

日 時 2007年3月29日(木)  
午前9時30分～  
場 所 原町教会礼拝堂  
出席者 つき・ほし組園児、つき組保護者



30名の子どもたちの成長をお祝いいたします。  
在園児を代表して、ほし組の子どもたちが式に参加します。  
※つき・ほし組保護者には、後日詳細をお知らせいたします。

### 巣立ち、そして新たな出発・・・

子どもたちは、色々な経験と学びを通して、心も体も大きく成長しました。神様に守られて成長できたことに感謝しながら、残された日々を大切に、楽しく過ごせるよう考えています。

今まで仲良く遊んだ友だちとの、「お別れ遠足」や「お別れ会」を予定しています。

**お別れ遠足** つき・ほし組 国見山散策と市内の川・海めぐり  
3/20(火) なみ・はな組 東ヶ丘公園  
つばみ・てんし組 東ヶ丘公園堤付近  
※詳細については、各クラス便りをご覧下さい。

**お別れ会** 保育園のホールで、卒園児、退職する先生とのお別れをします。  
3/27(火)



## 2007年度 入園・進級を祝う会と保護者会総会の開催

日 時 4月7日(土) 午前9時～  
場 所 原町聖愛保育園 ホール  
出席者 全園児・全保護者



お祝い会終了後、クラスでの話し合いと、記念撮影(てんし・つばみ組は親子で、はな組以上は園児のみ)を、クラス毎に行います。

保護者会総会がありますので、保護者の方は出席して下さい。  
総会終了後に全園児降園となります。

### ○お願い

- ・お祝い会ですので、ジーンズやジャージなどの服装は控えてください。
- ・保育園の敷地内は禁煙です。
- ・お祝い会や、話し合い中は、携帯電話の使用はご遠慮下さい。
- ・駐車場には限りがありますので協力下さい。

### ◇みんな愛されている◇

保育年数が長い子どもでは、6年以上保育園に通います。園生活で、健康安全に必要な基本的な習慣や態度を養い、仲間と一緒に過ごすことで社会性を身につけ、自主・協調の態度を養います。そこには、友達の刺激があり、身近な大人からの模倣があり、子ども達自身がこうなりたいという意志を持って生活をしてきました。

卒園、進級するにあたり、子どもたちは各自嬉しさを感じながら、新たな一步を踏み出そうとしています。特につき組の子どもたちは、毎日行ってきたことや、行事、遊び、役割活動で、一人ひとりの存在は輝き、力につけてきました。

私たちは神様によっていかされています。幼いときから、自分が自分であることを喜び、自分を信じて歩み始めようとする一歩を、共に喜び、励まし、支えたいと思います。